

# 光明寺だより

第104号  
浄土真宗本願寺派  
光明寺

〒793-0030 西条市大町550

TEL 0897-53-4583

## 心に残る詩

行為の意味 宮沢章二



あなたの心はどんな形ですかと

人に聞かれても答えようがない

自分にも 他人にも心は見えない

けれどほんとうに見えないのであろうか

確かに心はだれにも見えないけれど

心づかいは見えるのだ

それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の思いは見えないけれど

思いやりは見えるのだ

それは 人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が あたたかい行為になり

やさしい思いが やさしい行為になるとき

「心」も「思い」も、初めて美しく生きる

それは 人が人として生きることだ

## 「新盆合同追悼法要」は中止いたします

新型コロナウイルスの感染予防のため本年の新盆合同追悼法要は中止いたします。それぞれ、ご自宅で追悼して下さい。お寺では新盆の「おつとめ」をしておきます。ご自宅でのお飾りは法事の時と同じです。盆提灯や精霊棚しょうりょうはしません。迎え火、送り火もしません。

★本紙4ページに、お盆のことを説明をしていますので、ご参照下さい。

## 「コロナ禍」に思う



中国で発生した新型コロナウイルスは初動対応の遅れから、瞬<sup>またた</sup>く間に全世界に広がり、3月初めには、パンデミック（世界的大流行）と呼ばれる最悪の状態を引き起こしました。

我が国では、4月上旬「緊急事態宣言」が出され、外出自粛、営業自粛、イベントの自粛等々がなされ、息の詰まるような日常生活が続きました。

光明寺でも感染予防のため、恒例の行事（おねはん、彼岸会法座、新居浜地区のお取り越し）の中止をいたしました。さらに3月下旬、松山の葬儀で感染者が出たというニュースが流れ、仏事への警戒心が一気に高まり、お法事はキャンセルや延期が相次ぎ、葬儀は内輪だけの少人数といった事態が続きました。

1カ月余にわたる「緊急事態宣言」も、5月下旬に全面解除になり、「やれやれ」と一息つきましたが、いつまた第2波による感染拡大があるかもしれません。

百年に一度の災難と言われている今回の「コロナ禍」は私たちの日常生活を一変させました。こんな経験は二度とたくりありませんが、この「コロナ禍」を通して、いくつか学ぶべきこともありま

た。その一つは、私たちの暮らしは多くの人によって支えられているということを改めて認識したということです。

支えている人を「エッセンシャルワーカー」と呼ぶそうですが、これには、医療従事者、保育士、介護士、配達員（宅配、郵便）、運送業者、スーパーやドラッグストアの店員、ごみ収集作業員、警察官、消防士、公務員など多種多様な人がおります。

今回のような非常時において「こうした人たちが私たちの暮らしを支えてくれていたんだ」と多くの人が気づき、感謝のメッセージを新聞の投稿欄などに寄せられました。一部紹介しますと、

「連日不眠不休で励んで下さっている医療従事者の皆様をはじめ、生活の基幹を守っているすべての皆様へ心から敬意を表し感謝を申し上げます。」

「あらゆる仕事のお方が感染防止に懸命に働いています。一人一人の生活は、誰かの努力」が支えている。皆がエッセンシャルワーカーです。

このように、私たちの暮らしはエッセンシャルワーカーと呼ばれる人によって支えられている事がよく分かりました。投稿文にもあるように、実はエッセンシャルワーカーは特定の人だけではなく、すべての人がエッセンシャルワーカーだと思えます。

思えば、私たちの暮らしは、あらゆる人の支えを頂いて成り立っています。

関係のない人など一人もいません。皆つながっているのです。つながっているから、それが大きな「ハタラク」となっていて、一人一人の「いのち」を支え生かしながら続けているのです。これは仏教で説く「縁起の道理」です。

まさに「コロナ禍」は、私たちに、「縁起の道理」に目覚めさせる大事なご縁になったのです。それは生かされてあることを喜んでいく「感謝の日暮らし」を勧めるものです。

また、「コロナ禍」を通して今一つ教

えられたことがあります。

それは、「人間は、状況次第で何をし  
でかすかわからない」ということです。

聞いた話ですが、近くの町で若者がコ  
ロナウイルスに感染したというニュース  
が流れたことがあります。

田舎のことですから数日のうちにその  
家が特定されたそうです。それからとい  
うものは、その家に嫌がらせの落書きが  
されたり、いわれもない誹謗中傷や差別  
を受け、とうとういたたまれなくなつて、  
父親は会社を辞め、一家はどこへともな  
く引越したそうです。

大変気の毒なことですが、このような  
事例は全国で多く報告されています。

こういう嫌がらせがなぜ起きるのかと  
いうと、「うつたたらどう責任をとって  
くれるんじや。この地域で感染が拡大し  
たらどうしてくれるんじや。とんでもな  
いことをしてくれたもんじや」という  
苛立ちや恐怖心があるからです。

しかしこれは決して他人事ではありま  
せん。もし、自分が同じ立場に置かれた  
ら、同じようなことをやりかねません。

親鸞聖人が「さるべき業縁しうえんのもよおせ  
ばいかなる振る舞いもすべし」(「歎異抄」

と仰っていますように、縁が催せば(状  
況次第で)どんな行いをするかも分か  
らないのが私たちなのです。

この親鸞聖人のお言葉は、仏さまの眼  
を通して見抜かれた私の姿です。

ここでいう行いとは、「行動」だけ  
ではありません。「心」で思ったり、「口」  
で言うことも含まれます。ですから直接、  
行動を起こさなくても、腹を立てたり愚  
痴をこぼしたりすることはいくらでもあ  
ります。

ただここで大事なことは、腹が立っ  
たら立ちっぱなしではダメなのです。腹を  
立ててしまう自分のお粗末さに気づかな  
ければダメなのです。つまり相手の非に  
目を向けるのではなく自分の非に目を向  
けるのです。

そうして「つまらんことに腹を立てて  
しまったなあ。お粗末なわが身だなあ」  
と自らの愚かさに気づき、頭を下げるこ  
とが出来れば、愚かでありながら愚かな  
自分を超えることが出来るのです。

ここが大事なところなのです。これは  
人間の最も深い自省の念である、「慚愧」  
というものです。

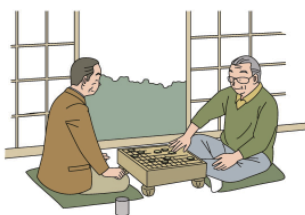
こうして自らの愚かさを知り慚愧さんきの念

が生まれてくると、「こんな愚かな私が、  
無数の支えを頂き生かされ続けている、  
何とありがたいことなんだ」という感謝  
の思いが一段と深まっていくのです。  
そこに、「慚愧さんきと感謝の人生」が展開  
されていくのです。

今回のコロナ禍は、まさにそうした人  
生を実現するための大事なご縁になるの  
です。

そうして、そんな人生が実現出来れば、  
「コロナ禍は決して無駄ではなかったん  
だなあ」と改めて心の底からうなずくこ  
とが出来ようになるのです。

「いかなることも無駄にしない」そん  
な人生を送ることが出来れば、これほど  
素晴らしいことはありません。



## 浄土真宗のしきたり お盆編

新型コロナウイルスの感染予防のため、今年の「新盆合同追悼法要」は中止させていただくことにしました。お盆は仏教行事の中で最もよく知られた行事です。そこで、お盆にかかわる疑問点を解答します。

問 なぜお盆と呼ぶのでしょうか？

答 お盆は正式には「盂蘭盆うらぼん」と言います。これはインドの古言葉「ウランバナ」を音写したものです。

意味は「倒懸たかに逆さまに吊るされるら大変な苦しみ」ということで、このような苦しみを受けている者を救う仏事を盂蘭盆会、盆会、略してお盆というのです。

問 お盆の期間はいつからいつまでですか？

答 「盂蘭盆経」の説話によれば、旧暦7月15日にあたります。それが、いつの頃からか、13日に亡き人の霊がこの世にかえり、14、15日と滞在し、16日に再びあの世にかえるという民間信仰が定着しました。この通説から、現在は、13日〜16日の間がお盆ということになります。

ただし、浄土真宗では亡き人は命終えると同時に、阿弥陀さまのご本願のハタラク（本願力）で直ちに仏さまになられます。そうして、迷える私たちを救うために、すぐさま娑婆世界へ還ってこられ、いつでもどこでも、私たちを護り、導いて下さっていますので、お盆の時しか、かえらないという事はありません。従って、迎え火や送り火はしません。

問

どのようなお飾りをすればいいのですか？  
答 浄土真宗では、お盆だからといって、何か特別なお飾りをする事はありません。

しかし、お盆のご縁を大切にという意味合いから、お仏壇をお掃除し、お法事の時のように、仏具は五具足（ローソクたて一對、花立一對・香炉）にして、お菓子・果物・お餅をお供えするのが良いでしょう。

また、他宗では、亡き人の霊を迎えて追善回向ついでんえうをするために、「精霊棚しょうりょうだな」といったものを用意します。精霊棚の前で読経することから「棚経たなまじょう」と呼ばれています。浄土真宗ではこうした棚はしません。

問

浄土真宗のお盆の意義とは？

答 古くから民間信仰としてご先祖がかえってくるといわれるこの時期に、亡き人のご恩を偲しのびつつ、「この私もいずれ、お浄土に参らせて頂きます」と、私のいのちの帰るべきふるさとがお浄土であることを、改めて確認させていただく、その尊いご縁にしていくところに浄土真宗のお盆の意義があります。



## 浄土真宗のしきたり 用語編

昔からの習慣で何気なく使っている言葉に、浄土真宗としてはふさわしくない言い方がよくあります。習慣上中々直りにくいものですが、できるだけ正しい使い方を心がけて下さい。そこで誤用しているものをいくつか取り上げてみます。

★仏壇を新しくした時

【正】「入仏法要」

【誤】「お魂入れ」

「仏壇を新しくしたので魂を入れてください」と言われることがありますが、仏さまに魂を入れたり出したりすることなどはできません。「入仏法要」は私たちの心のよりどころである阿弥陀さまをお迎えしたことを喜び、そのお徳を讃えるために行う仏事です。

★お墓を新しく建てた時

【正】「建碑法要」

【誤】「お性根入れ」

一般に、お墓は亡き人が眠っているところで、お墓参りはその故人を偲ぶためにしています。もちろんその気持ちは大事なことです。ただ、それだけではなく、この私が阿弥陀さまの救いの中にあることを喜んでいく、そういう尊いご縁の場にしていくことが大事なのです。

お墓の建立をご縁として、ますます聞法、求道に励むことを表明する儀式として「建碑法要」を営むのです。

そのようなことから浄土真宗では石碑に「南無阿弥陀仏」と刻むのが最も良いのです。

★葬儀の時に使われる言葉の誤用例

【誤】

ご霊前

↓ご仏前

ご冥福をお祈りします

↓哀悼の意を表します

天国に召される

↓浄土に往生する

安らかに眠り下さい

↓私たちをお導き下さい

祈る

↓念ずる

草葉の陰

↓お浄土

告別式

↓葬儀

戒名

↓法名

魂

↓故人

参考までに、浄土真宗らしい弔電の例を一つ。

【弔電例】

〇〇様のご逝去の報に接し、心より哀悼の意を表します。

ご生前中のお姿を偲び、今はただ、お念仏を申し上げるばかりです



趣味の広場



俳句を楽しむ(八十三)

森本隆を

二月にこの「光明寺だより」第一〇三号を

届けて頂いたその直後から新型コロナウイルス騒ぎが始まり、現在もまだ世界のあちこちで猛威を振るっています。わが国でもつい先日「緊急事態宣言」は解除されましたが、まだまだ毎日新しい感染者が出ており油断ならない状況です。おかげで二月から現在に至るまで、かつてない自粛生活を強いられ、日本中、春も黄金週間も関係なく過ぎ去り、今や梅雨も終わり近い暑い日々をまだマスクをして遠慮がちに買い物に出かけるような有様です。しかし逆に考えてみると、毎日時間がたつぷりとあり、それまで忙しくしてきた人間にとって色々考えるチャンス为天が与えてくれた四、五ヶ月だったようにも思います。普段見ることもない所から一昔前には有った物で今はすっかり忘れていたような、ちよつと懐かしい感じの物を見つけたりする事もありました。丁度、夏本番を迎えようという時期なので、身辺を見回して少し昔の夏を思い出してみましよう。まず風鈴から。

風鈴に風のすぐ来る路地暮し 菖蒲 あや  
風鈴買い一つの音を提げ歩く 吉川 禮子

風鈴のそれぞれの音を商へる 金井 利信  
確かに以前はよく軒先や窓の下あたりに南部鉄やガラスなどで作った風鈴が涼やかな音を立てていましたね。次に天瓜粉。

天瓜粉しんじつ吾子は無一物 鷹羽 狩行  
手放しに泣けるしあわせ天瓜粉 佐藤博美  
赤ん坊や幼児につきものだったあせも、今の清潔な感じの小さい子供さんを見ていると生活環境の差の大きさがわかります。

打水や妻子待つ灯へみな急ぐ 柴田白葉女  
水打ちし石より風の生まれけり 福島貞雄  
もちろん今も水を打つ、水をまくことはよく有ります。しかしその目的は、今は庭の木や草花、裏の空き地に植えた胡瓜やナスの苗に水をやっているのであって、ひと昔前の打水は人間も涼しく感じさせるための作業だったんですね。今や家の前の道に水を打ってそれで涼しく感じる、などとは思えません。

老が身の着かへて白き浴衣かな 村上鬼城  
しるじろと古き浴衣やひとり者 原 石鼎  
海昏れて浴衣の風となりにけり 中島勝彦  
もともと湯上りの部屋着として浴衣は着られていたのですが、今や若い人の外出着の様な感じですね  
えるうまれつけり。

命惜しまむ冷麦のうまかりし 森 澄雄  
箸割ってわが冷麦の季来る 星野麥丘人  
冷麦や昔めきたるガラス鉢 広瀬 美保  
今や麺類と言えばうどん、蕎麦、そうめん、ラーメン……と、なかなか冷麦は出てきませんね。うどんより細くそうめんよりは太

い、という半端な感じが今の時代に受けられないでしょうか。うまいのですが……。

反対に、ずっと昔の物だったはずが、何故か今もけっこう愛され、なつかしがられているのが、かき氷(氷水とも言います)です。

赤き青き舌ひらめかせ氷水 高橋 睦郎  
物言わぬことの愉しきかき氷 永方 裕子  
かき氷にかけるとシロップが昔は舌や口のみわりに色が残る程強烈な赤や青でした。

木製の冷蔵庫を自転車に積んで村々を回っていたアイスケーキ屋さん、店先のケースに張った水の中のラムネ、懐かしいものが多いですね。そういった物を思い出しながら、猛暑の続く夏を乗り切りましよう。



# 作職書作品

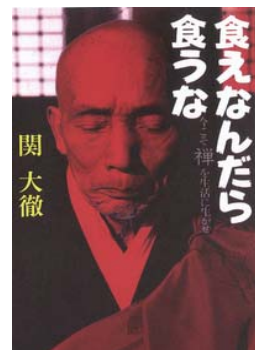


【字句】 <sup>むげ</sup>無礙

【出典】『歎異抄』第7章・・念仏者は無礙の一道なり

念仏者は何物も障りにならない人生を歩むことができる

『食えなんたら食うな』



BOOK  
本

発行所 ぐま書房  
著者 関大徹  
定価 1800円+税

本書は曹洞宗の名僧・関大徹師の自伝的人生論です。廃刊になっていましたが今回待望の復刊となりました。ハツとさせられるようなタイトルの言葉ですが、それについて大徹和尚は次のように述べています。

《寺へ入ったら食える保証などない。寺で食えるというのが間違っているのだから、寺は食う処ではない。お百姓さんのように一粒の米も作れないから、行乞に出て、一握りの米をタダで頂戴して生き永らえさせてもらっている。一握りの米も頂けなくなったら、誰を恨むでもない。その時は心静かに飢え死にすればいい》

自ら選んだ道だから、自らの責任において果たしていく。言い訳はしない、弁解はしない、まことに潔い生き方です。しかも、事の本質を見極めていきますから「その通りだなあ」と頷かずにはおれません。

12章で構成されており、一部を紹介すると、

★食えなんたら食うな ★病いなんて死ねば治る

★ためにする禅なんて嘘だ ★社長は便所掃除をせよ

★自殺するなんて威張るな ★死ねなんたら死ぬな

# 彼岸会法座

## 9月29日(火)

おつとめ 午後1時30分

おはなし 午後2時

【講師】季平博昭先生

光明寺のホームページ

南岳山光明寺

検索



★次回発行予定：12月上旬

「光明寺だより」を「ご家族の皆さんでお読み下さい」



## 言葉のプレゼント

念仏は  
私に  
ただ今の身を  
納得して  
いただいでいく力を  
与えて下さる

鈴木章子



### 一新しく出来た水汲み場

お墓の水はこちらをご利用ください。  
ごみ捨て場から東へ20メートルほど  
行ったところです



★東京渋谷のヒカリエ8階で愛媛県の魅力を伝える展示会が開催されています。光明寺も紹介されています。会期は7月～8月末です。

★コロナウイルスの影響で長らくお休みしていましたが、今回「彼岸会法座」を開催する予定です。  
(\*上記参照)

★住職の長男(光)が7月23日、満二歳を迎えます。大変穏やかな性格で、こちらの言うことはほとんど理解できます。

★光明寺の墓地(満福寺さんの東隣)に簡易の水汲み場が出来ました。ごみ捨て場から東へ20メートルほど行ったところです。(★上図参照)

★コロナウイルス第2波が心配です。手洗い、うがいを励行しましょう。うつらないよう自己防衛！うつさないよう周りに配慮！三密回避の習慣化！

